



軽防協ニュース速報（号外）

2021年10月20日
軽種馬防疫協議会 事務局
(JRA 馬事部防疫課)

破傷風血清（破傷風抗毒素）の使用に関する注意喚起について

表題の件につきまして、農林水産省 消費・安全局 畜水産安全管理課より以下の通り関係各所への周知の依頼がありましたので、お知らせいたします。

～畜水産安全管理課からの連絡内容～

令和3年10月18日（月）、松研薬品工業株式会社（以下「松研」）より、同社が取り扱う「破傷風血清」について、「馬への使用を控えること」という注意喚起を行うとの連絡を受けました。

※製品情報はこちら（<https://www.vm.nval.go.jp/public/detail/5328>）

松研の「破傷風血清」は、米国の製造業者にて馬血液を用いて製造されておりますが、この度米国農務省動物検査部が米国内の製造業者に対し、肝炎（タイラー病）の原因となる可能性が指摘されている馬パルボウイルスの混入が否定できないため、馬への使用を控えるよう指示したことが契機となります。

松研の「破傷風血清」は馬への日本での使用実績はほぼなく、主として牛やイヌなどに使用されております。馬パルボウイルスは牛やイヌへの感染は知られていないため、引き続き、牛やイヌへの使用は可能です。また、馬パルボウイルスは健康な馬からも遺伝子が検出されることがあるため、感染後すぐに馬へ健康被害を及ぼすものではないと考えております。馬は基本的にワクチン（トキシイド）による予防が徹底されているとのことですが、念のため情報提供させていただきます。

【参考】

破傷風菌（*Clostridium tetani*）は広く自然界の土壌中に分布し、深い刺傷などから侵入した菌が神経毒を産生し、神経症状を発症します。このように疾病を発症した際に治療薬として用いられるのが破傷風抗毒素となりますが、当疾病はワクチン（トキシイド）接種により高い予防効果が認められます。皆様におかれましては今一度、馬の予防接種要領をご確認いただき、適切な健康管理に努めていただきますよう、よろしく願い申し上げます。

軽種馬防疫協議会HP－馬の予防接種要領（<http://keibokyo.com/prevention/inoculation/>）

軽種馬防疫協議会